

南部営農だより 8月の防除

南部総合経済センター 電話：237-5580 Fax：237-5155
長田営農出張所 電話：259-3233 Fax：258-2867



夏の除草剤キャンペーン 8月末日まで

頑固な草も！根まで枯らす！

7～14日で効果を実感！なんでも枯らす！



タッチダウン IQ

6ℓボトル購入で「500ml ボトル」を1本進呈



ザクサ液剤

5ℓボトル購入で「専用ノズル」を1個進呈

女性部お知らせ

- ◇ 8/5 (水) JA 静岡市女性部リーダー研修会遠州夢咲視察
- ◇ 8/6 (木) 14:00～ブロック合同 健康講座(千代田支店)
- ◇ 8/7 (金) 13:30～ブロック合同 おはぎ作り(本店調理室)
- ◇ 8/26 (水) 13:30～ブロック合同 防災食講座(長田支店)



有害鳥獣伝言板

R8・6月 南部 長田

シカ - 3頭
アナグマ 1頭 1頭

有度山地区でイノシシ被害が増えています。

地域の柵の見直しをしましょう

※ 高田農具展示販売会 ※

8月3日(月) 大谷支店 8月7日(金) 長田支店

8月26日(水) 南部総合経済センター

修理も受付
ています!!

土壌診断のお知らせ

- 申込締切: 8月21日(金) 診断料 1,330 円/検体(税込) ※本年度は診断料の助成はありません
- 申込方法: 土壌400g程を紙袋に入れ、住所・氏名・連絡先を明記 ※検体の採取方法は年特冊子 20p参照
- 提出先: 南部総合経済センターまたは長田出張所
- 分析項目: 7項目(pH、EC、石灰、苦土、加里、リン酸、腐食)



土の健康診断だね

茶 (岩田)

茶樹の粉碎、抜根の申し込み受付しています

1. 病虫害防除

三番茶生育期	炭疽病・もち病 褐色円星病 ウンカ・スリップス ハマキムシ類	インダーフロアブル	5000 倍	7 日前-2 回
		エクシレル SE	2000 倍	7 日前-1 回
8 月上旬	ハマキムシ類 ヨモギエダシャク	ファルコンフロアブル	4000 倍	7 日前-2 回

◇エクシレル SE はマダラカサハラハムシに効果あり

長雨が懸念される場合は展着剤を使用してください。アビオン-E (2000 倍)

今年は、クワシロカイガラムシが多いようです。コルト顆粒水和剤 (2000 倍)

7 月中旬と 9 月中旬の二度の発生タイミングに注意しましょう

◎注意: 農薬購入の際は印鑑をご持参ください

水稻 (石原・深井・望月)

防除

- ・ 雑草が残る場合は、落水時にMCP (広葉) やクリンチャー (ヒエ) を散布する。
- ・ 出穂時期の農薬散布は開花時間 (9 時~13 時) を避けて防除を行う。
- ・ カメムシの防除適期は、出穂 (穂が 5 割程度出た頃) から 7~10 日後。

防除 (液剤体系)

使用時期	病虫害	薬剤	倍率	使用基準
出穂前 早生: 7 月下旬 中晩: 8 月中旬	いもち病 ※1	ダブルカットフロアブル	1,000 倍	穂揃期まで-2 回
	紋枯病	モンカットフロアブル	1,000 倍	14 日前-3 回
	カメムシ・ウンカ・コブノメイガ 他	トレボン乳剤	1,000 倍	14 日前-3 回
出穂直後 早生: 8 月中旬 中晩: 8 月下旬~	穂いもち	ブラシンフロアブル	1,000 倍	7 日前-2 回
	ウンカ・カメムシ※2	エクシードフロアブル	2,000 倍	7 日前-3 回
必要に応じ追加防除	カメムシ・ウンカ	スタークル顆粒水溶剤※3	2,000 倍	7 日前-3 回

※1. 6 月下旬にいもち病感染好適日があったため、発生にご注意ください。

※2. カメムシは 6 月に注意報が出ており、静岡市でも発生増加が懸念されますので、ご注意ください。

※3. 豆つぶ剤で防除を行う場合は水管理が十分でないと効果が落ちる。豆つぶ剤散布→湛水状態 (5cm 程度) で散布し、4~5 日間は湛水状態を保ち、7 日間は落水やかけ流しをしない。

水管理

- ・ 中干後は、基本的には間断灌水を行うが、高温 (平均気温 26.5℃が 20 日間以上続く) で高温障害 (乳白米) の発生が増加するため、対策としてかけ流し灌漑 (注) を行う。

(注) 大量の水が必要となるため、近隣の用水事情と相談しながら実施する

農薬: 茎葉処理除草剤の上手な選び方 (石原・深井・望月)

除草剤の散布は、「晴れた日の早朝」が最適です。日中の炎天下では薬剤がすぐに蒸発し、効果が落ちるため気温が上がりきる前に散布しましょう。

除草剤剤名	有効成分	移行性	特徴
タッチダウン IQ	グリホサートカリウム塩	葉から吸収し根まで移行	根までしっかり枯らす。効き方は遅いが抑草期間が長い。ラウンドノズルを使えば飛散が無く安全で経済的。散布後 1 時間で雨があっても除草効果が安定。苦手: スギナ (2.5 倍散布) ツユクサ
ラウンドアップ ML			
ザクサ液剤	グリホシネート	葉から吸収しあまり移行しない ※雑草全体がしっとり濡れるよう丁寧に散布すること	有効成分が吸収されて地上部を枯らす。効き方はラウンドアップより早く、ブリグロックスより遅い。根を残すので傾斜地・水田畔の使用でも崩れを起こさない。幅広い雑草に効果がある。スギナにも効果。
バスタ液剤			
ブリグロックス L [®]	ジクワットジプロミド ・ パラコートジクロリド	葉から吸収し移行しない ※雑草全体がしっとり濡れるよう丁寧に散布すること	葉から吸収しかかった部分のみ枯れる。光があれば気温に左右されず、草を速攻的に枯らす。根を残すので傾斜地・水田畔の使用でも崩れを起こさない。苦手: イネ科大型雑草

落葉果樹（森）

作物	使用時期	病害虫	薬 剤 名	倍 率	使用基準
桃	8月中旬	シンクイムシ類 アブラムシ・ハダニ類	モスピラン顆粒水溶剤 ㊞	2,000倍	前日ー3回
梨	8月上旬	ハマキ、シンクイ類・ カメムシ類	アグロスリン水和剤 ㊞	1,000倍	前日ー3回
キウイ	8月 (「インパール」・ 東京「パール」)	果実軟腐病	ベルコート水和剤	1,000倍	前日ー5回
イチシク	キウイは乾燥に弱いので、降雨のない時は灌水を3日に1回位行う。				
	8月上旬	アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	前日ー1回
		疫 病	ランマンフロアブル	2,000倍	前日ー3回
	8月中旬	さ び 病	ラリー水和剤	2,000倍	前日ー4回
7～8月は雨が多く湿気やすい傾向にあります。通風・採光に努め、園内を清潔にしてください。 ショウジョウバエが発生する場合は、コテツフロアブル 2,000 倍（前日ー2回）を散布してください。					
柿	8月上旬	カキヘタムシガ ゾウコガガラムシ	モスピラン顆粒水溶剤 ㊞	2,000倍	前日ー3回

柑橘（新出）

・かんきつ（温州・中晩柑共通）

散布時期	対象病害虫	薬剤名	倍率	使用基準	
8月上旬中	チャノキイロアザミウマ	アクタラ顆粒水溶剤	2,000 倍	14 日ー3 回	混用可
	黒点病	ペンコゼブ水和剤	600 倍	温州 30 日ー4 回	
				中晩柑 90 日ー4 回	

※ペンコゼブ水和剤は、温州と中晩柑での使用基準の違いに注意する。

【コナカイガラムシ】

発生園地では、コルト顆粒水和剤 3,000 倍を散布する。

【そうか病・かいよう病】

感染した幼果や葉、枝は除去し園地外で処分する。

温州のそうか病多発園では、ペンコゼブ水和剤は 400 倍で散布する。

【摘果】

・品質向上のため、青島温州・中晩柑を中心に、裾成り果や天成り果を摘果する。

・青島温州は、着果量が多い樹でも9月に重点的に摘果し、糖度向上を図る。

【施肥】 8月下旬 スルガエレガント スルガペレット 3袋／10a

【日焼け軽減】

猛暑によって極早生・早生で日焼けの発生が増加する見込み。

梅雨明け直後、果皮を守るように陽光面を中心に日焼け防止資材を散布する。

農協のドリンク紹介

☆値引き実施中☆ご注文お待ちしております！配達致します！

果実の香り ギゅっとみかん

本物果汁入りスパークリングみかん

濃縮還元果汁100%

5300円 → 4450円

スッキリ！炭酸

3100円 → 2430円

㊞注意：農薬購入の際は印鑑をご持参ください

苺（山森）

《育苗》「作業開始前に炭疽病の恐れがある株の除去を徹底しましょう」

1. 育苗管理

（1）切り離し

- ・最終ポット受けから 20 日以上経過してから切離しを行いましょう。
- ・温暖化の影響で、平地育苗では 10 月に入ってから定植となる方が増えています。切離し時期は適宜調整して下さい。例：10 月 1 日定植の場合→切離し 8/15～20 頃
 - ① 1 B 化成にて管理する場合：切り離し時に 1 粒/株を施用する。
 - ② 切り離し後に摘葉を行う。常時展開葉 2～3 枚を目安とする（定植時は 4～5 枚）。
 - ③ 株間を取り風通しを良くする。遮光、遮熱資材を使用して高温対策をする。

（2）子苗の肥培管理「肥料濃度を測って管理しましょう」

- ・置き肥の場合、9 月の月上旬に肥効が切れるように管理し、その後は液肥で管理する。
- ・葉面散布の場合は 3 日間隔程度で施用する。
※9 月上旬からは硝酸イオン濃度 50～100ppm 程度になるように管理する。

2. 病害虫防除

（1）炭疽病

- ① まず第一に作業開始前に怪しい株の除去をしましょう。（拡大させない！！）
- ② 点滴チューブ等を使用してソフトな灌水とする。（泥はね、水はねを防止する。）
- ③ 葉かきなどの作業は晴天日に実施し、作業の後には必ず薬剤散布をする。
- ④ 薬剤散布は予防主体として（M1、M3、M4、12）ローテーション防除を行います。

（2）うどんこ病

気温が高くなると「うどんこ病菌」は活動しなくなり一見防除できたように見えますが、細胞の中に菌糸は残っています！摘葉と薬剤散布を徹底しましょう。

（3）コガネムシの防除 本圃定植前にコガネムシの防除をしましょう。

お勧め薬剤	使用時期	使用方法	倍 率	回 数	成分総使用回数
ダイアジノン SL ソル	ポット育苗時	育苗ポット灌注	500 倍 (1,000ml/m ²)	1 回	2 回
	定植前 (本圃)	全面土壌混和	25 倍 (100ℓ/10a)	1 回	
ベリマーク SC	育苗期後半～ 定植当日	灌注	1,000 倍 (50ml/株)	1 回	4 回 (灌注は 1 回、 散布 3 回以内)

※ダイアジノン SL ソル、ベリマーク SC とともに取り寄せの商品となります

2. 育苗圃防除ローテーション（先月号の続き）

時 期	薬 剤	RAC	倍 率	主な対象病害虫
第 1 週 (26 日～1 日)	コサイド 3000	M1	1,000 倍	炭疽病
	エコピタ（液）	—	100 倍	うどんこ病、ハダニ、アブラムシ
第 2 週 (2 日～8 日)	アントラコール顆（水）	M3	500 倍	炭疽病
	モベント（フ）※散布	23	2,000 倍	ハダニ、アブラムシ、アザミウマ
第 3 週 (9 日～15 日)	オーソサイド（水）	M4	800 倍	炭疽病
	エコピタ（液）	—	100 倍	うどんこ病、ハダニ、アブラムシ
第 4 週 (16 日～22 日)	セイビアー（フ）	12	1,000～1,500 倍	炭疽病
	カスケード（乳）	15	4,000 倍	ヨトウ、アザミウマ
第 5 週 (23 日～29 日)	アントラコール顆（水）	M3	500 倍	炭疽病
	ニッソラン（水）	10A	2,000～3,000 倍	ハダニ